

新年を語る 会派等の抱負

地域の声で、新たな豊島へ

* 自民党豊島区議団

令和6年、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。区民の皆様におかれましては、お健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

令和5年は4月に、統一地方選挙が行われ、豊島区議会・区長共に新たな構成となりました。自民党豊島区議団も8名の会派としてスタートさせていただきました。平素より自民党豊島区議団へのご理解とご協力に改めて感謝申し上げます。政策集団としての責任を果たすべく、一つ一つの課題に向き合い議論を尽くしてまいります。

さて、新型コロナウイルス感染症も感染症法上の位置づけが5類感染症となり、社会経済活動がコロナ禍以前へと戻り、お祭りや運動会など地域の活動も再開されてきました。しかしながら、不安定な国際情勢の中、物価高騰など経済状況は先の見えない状態にあります。このような中、豊島区では令和4年度決算において、過去最高の20億円の貯金超過額で将来に向けた備えを強化いたしました。

我々、自民党豊島区議団は、安定的な区民生活を支える予算の確実な執行に努め、計画的な

学校改革や区有施設整備、本区の多様な街の顔を活かした産業振興、子育て支援をはじめ、高齢者や障害者支援などの総合的な福祉政策の充実、誰もが安全に安心して暮らすことのできる防災・治安対策の強化、文化芸術や環境に配慮した街づくりなど、時代と共に進化し続ける、「誰一人取り残すことのない、持続発展都市としま」の実現に向け、区民の皆様の声に耳を傾け、新たな年も、地域の皆様と共に進んでまいります。今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



松本 創一朗



池田 裕一



磯 一昭



竹下 ひろみ



片岡 きょうこ



中澤 まさゆき



原田 たかき

「ひと」が主役の豊島新時代へ

* 公明党

新春を寿ぎ、謹んでお慶びを申し上げます。

公明党区議団は、生命や生活を最大に尊重する人間主義を貫き、小さな声も大切に区政に届け、誠実に形にして参りました。

昨年は物価高騰が続く中、区立小中学校の学校給食費の無償化を推進し、特別支援学校の給食費無償化にも拡大して参りました。また、私ども区議団の提案で「子どもたちの権利相談室」の開設を推進。子どもたちの相談に対応し、子どもたちの

侵害と考えられる場合は関係機関と連携を図り、調査や是正要請を行えるようになりました。

今後、子どもたちが健やかに成長できる環境を確保するため、全力で取り組んで参ります。

また、高齢者のヒアリングレベルにも力を入れて取り組み、補聴器の購入費助成を拡充。公明党の要望で、区役所相談窓口等にも、軟音伝導イヤホンの導入を実現し、聞こえづらさを感じずに相談ができるようになりました。さらに、公衆浴場の減

少に伴い、入浴に困っている高齢者のお声を受け、入浴特化型デイサービス事業を提案してモデル事業に取り組み、今後区内に拡大していく予定であります。

長引く物価高騰への対策として重点支援地方交付金が区民の生活の下支えとなるよう、私ども政策提案を行って参ります。

公明党は区民生活の向上と安全・安心なまちの更なる構築、福祉と教育の充実に一層力を入れて取り組んで参ります。本年もどうぞ宜しくお願い致します。



辻 薫



高橋 佳代子



北岡 あや子



ふま ミチ



儀武 さとる



小林 ひろみ



森 とおる

区民の皆様のために、今年も是々非々で！

* 維新・無所属

謹んで新春のお慶びを申し上げます。コロナ禍も一段落が過ぎましたが、世界経済の激変により、物価や燃料費の高騰が私たちの生活を脅かし続けています。国や都の援助を求めながら、引き続き豊島区としてできるサポートがないか求めて参ります。

私たちの会派は、維新の会に所属する議員2名と無所属議員2名、合わせて4名の会派です。国政におけるスタンスは違えども、区政においては議論しながら一致させて行動しています。

私たちの共通理念は是々非々です。区民の皆様にとってメリットとなることは賛成し、デメリットになることは修正を求め、それに応じなければ対案を出していくというスタンスを徹底徹底貫いて参ります。

本年も初心を忘れず、区民の皆様のために発言し、区民の皆様と共に行動して参る所存です。



泉谷 つよし



入江 あゆみ



ふるぼう 知生



林 二葉



垣内 信行



小林 弘明



中山 よしと



宮崎 けい子



さくま いっせい



川瀬 さなえ



塚田 ひさこ



西崎 ふうか

新年あけましておめでとうございませう。私たち立憲・れいわ市民の会は、初当選した3名を含め6名の会派です。会派名にある「市民の会」には「区民の皆さまと共に歩みたい」という思いを込めています。これまで歩んできた背景も様々な議員個々の強みを活かして、「多様性はチカラ」を体現すべく、複雑化する地域の課題には力を合わせ、これからは丁寧に取り組んで参ります。

昨年、苦しい経済状況が続きました。声に出せない「こころの声」にも思いを馳せ、皆さまの不安や悩みを寄り添い、それを政策に反映してきました。

「原油価格・物価高騰等による費用増大に対する緊急要望」として、昨年同様の区内事業者への財政的支援を区長に求め、またマイナ保険証への不安の声を受け止め「健康保険証の廃止を

延期し今の健康保険証の存続を求める意見書」の国への提出を呼びかけました。私たちの区民の皆さまの「今こころ」の声を、区や議会に対し社会情勢に機動的に対応するよう行動してきました。

誰ひとり取り残さず、誰もが住み続けられる豊島区を共に創っていきましょう。これからも私たちに皆さまの声をお寄せください。お待ちしております。

豊島区を日本一素敵な街だと感じて貰う為に

* 無所属元気の会

豊島新時代を、4期目も活動の見える政治家として、安全・安心で活気ある街づくりを実現していくために、区民の皆さんと一緒に、引き続き元気に頑張っていきます！



小林 弘明



◎幹事長
◎副幹事長



都民ファーストの姿勢で身近な区政の実現を

* 都民ファーストの会・国民

どの物価高騰による区民生活への影響は甚大です。既に保育所や高齢者施設等への支援策は講じましたが、更なる対策を区へ求めます。

昨年は区へ緊急要望を行った給食費の無償化が実現しました。利用者数が限られる土日開庁の見直しなど、取り組むべき課題はまだ多くあります。行政DX

化を区民サービスの充実につなげるなど、賢い支出によりメリハリのついた区政とすべく、今後も様々な提案を行います。

身近な区政と感じて頂けるよう地域に根差した活動を心がけます。区政に対するご要望やご相談は、会派所属議員へお気軽にお問合せください。本年もどうぞよろしくお願いたします。

区民の命とくらしを最優先にする区政に！

* 日本共産党

新年おめでとうございます。

日本共産党が、くり返し提案してきた「区立小中学校の給食費の無償化」が、ついに昨年9月から実現しました。みなさんご声をあげれば政治が変わることを実感しています。

世界では、軍事対軍事で罪のない多くの人命が失われていまま。政府の軍拡による戦争への

道は認められません。平和憲法9条にもとづく解決にみなさんと一緒に力を尽くす決意です。

今、物価高騰、長引くコロナ禍で、区民のくらしはますます苦しくなっています。

区に求められているのは、一人ひとりを大切にして、区民のくらしに寄り添い、国・都に対して、区民の立場にたち、毅然と物を言う姿勢です。

ところが、区は国・都と一緒に、大型開発を進めていきます。一方、やるべきことをやらずにため込んだ、昨年度末の区の基金(貯金)は、過去最高の20億に膨れ上がりました。

日本共産党は、ムダ遣いやめさせ、基金を積極的に活用し、くらしを守る区政に転換します。